

令和8年1月教育長定例記者会見

期 日 令和8年1月9日（金）

時 間 15：30～15：43

出席記者 中国新聞、広島テレビ、テレビ新広島、毎日新聞、山陽新聞、広島ホームテレビ、共同通信、RCC、朝日新聞、NHK、読売新聞、時事通信

《令和7年度第2回 広島県総合教育会議について》

中国新聞： 中国新聞の和多と言います。本日あった、県の総合教育会議の件でお伺いしたいと思います。まず有識者や委員の方から様々な意見が出たかと思えますけれども、教育長としての所感や受け止めをお聞かせください。

教育長： はい。本日は有識者3名の方から御意見を頂戴いたしまして、教育委員の各委員からも御意見を頂戴しました。本来であればですね、一通り、御意見を伺った上で、更に互いの意見交換ということができればよかったですけれども、いただいた意見がかなり多く、また、中身の濃いものもありまして、時間を超過するようなことになってしまいましたので、もっと（意見交換が）できればよかったですと思えますけれども、一方で、今回、これからの5年間を見据えた教育に関する大綱を作成するにあたって、大きな方向性については、概ね賛同と申しますか、共通理解が得られたというふうに思っております。一方で、本日はあくまで「骨子」ということで議論いただきましたけれども、その中で肉付けをしっかりとしていくといったところですか、今日、有識者からも（御意見が）ありましたけれども、関連付けというところで、しっかり意味づけが通るようにしていくことですか、また、「広島らしさ」という話もありました。その「広島らしさ」について、どういった形で「らしさ」を出していくのかということについて、非常に大きな示唆をいただいたと思っておりますので、今日のいただいた御意見をしっかりと整理をして、大綱の策定に向けて、しっかりと事務局としても準備していきたいというふうに思いました。

中国新聞： ありがとうございます。委員からの意見の中では、生成AIに関して、情報能力を活用できる人材の育成強化についての意見がすごく多かったという印象を受けたんですけれども、教育長として、この生成AI活用を、次期大綱の中でどのように位置づけて、どういう教育を目指していきたいかというのを（教えてください）。

教育長： はい。今日の骨子の中にも少し触れられた部分はありますけれども、AIに代替されない能力をいかに育成していくかという観点と、これから更に急速に発展していくAIをいかに使いこなしていくかという両方の側面で、力を伸ばしていく必要があるというふうに思っておりますし、それは子供達だけではなくて、学校の教職員を含めてAIを有効活用して、それを教育の充実・発展につなげていくという観点も必要かというふうに思っております。AIに代替されない能力といったところでいきますと、今日も有識者の委員の皆様から（御意見が）ありましたけれども、人間しかできない意味をちゃんと理解して、そして、人と人との繋がりの中でコミュニケーションを取りながら、実際の体験を通じた学びによって、生きた知識を身につけて、そして主体的に活動し、正解のない世界で解を作っていく、それを協働しながら納得解を生み出していく、そういつ

たところが求められていきますので、今の学びの変革の推進の延長線上で、しっかりAIに代替されない能力というのを育成していく必要があると思いますし、これからAIをいかに使いこなしていくかについて言いますと、技術的なところはいろいろ進歩していくので、折々で学び続ける中で、そのときの技術に対応した力は学びながら使っていくということが常に求められていくと思いますけれども、AIを使いこなしていくためには、まずは問いを立てるといいますか、課題を発見し、その解決に向けた課題意識を持つということが非常に大事になってまいりますので、そういった力の育成というものを学校教育を通じてですね、育成していきたいと思っておりますので、そういった観点も、今回の大綱を作っていく中でしっかり委員の皆様と議論しながらですね、より良いものを作りたいと思っております。

《県立高等学校の再編整備について》

朝日新聞： 朝日新聞の武田です。先月の会見でもお話があった、高校再編の計画なんですけれども、案というのが今月にも出てくるというような話が今年の10月の（県議会・文教）委員会ではあったんですが、今の進捗状況を教えていただけますでしょうか。

教育長： 10月の県議会、文教委員会の方で、今後、年度内を目途に策定するというスケジュール感をもった、考え方について説明させていただきました。また、具体的な素案をまとめてお示しするようなことも含めてですね、今調整をしているところでございまして、時期も含めて今まさに検討しているという状況でございます。

朝日新聞： 今月19日にも文教委員会があると思うんですけれども、素案はそれまでには示される予定なのか、そこはまだ分からないのかどちらでしょうか。

教育長： 現時点で確定的なことを申し上げられることがなくてですね、そこも含めて検討しているという状況です。

朝日新聞： 事前に予定していた計画よりは遅れ気味であると受け止めていいのでしょうか。

教育長： 10月当初に考えていた予定はありますけれども、そのラインというのは持ちながらも、今、正にそこも含めて検討しているという状況ですね。

朝日新聞： 理由としては、この前もお話が出ていましたけれども、自治体への説明とか、意見というのがかなり多様であって、收拾に難航しているみたいなそういう状況なんでしょうか。

教育長： 先月にも申し上げましたけれども、丁寧に地元の関係の皆様にご説明させていただくということが必要なことかと思っております。一定のプロセスを経る必要があると思いますので、そのプロセスの中でこういった対応になるのかというのは、正に動きながら検討しているというような状況ではあります。

朝日新聞： 私の方は以上です。ありがとうございます。

《令和7年度第2回 広島県総合教育会議について》

R C C： RCCの家森と申します。総合教育会議の話をもう1点お聞かせいただきたいんですが、若い世代の教員が増えるというようなことも指摘の中にあっただかと思っております。その上で教育委員の方からですね、不祥事対策の具体的なものを盛り込むのはどうだろうか

というような話もあったかと思うんですけども、この点、教育長からですね、現時点で何か不祥事対策、具体的に今後、新たなものを実施するであるとか、大綱にこういっただけを入れたいというような受け止めについてはいかがでしょうか。

教育長： はい。今日も教育委員の方から不祥事について言及がありましたけれども、今、現時点をお示ししているのは骨子の段階ですので、これから委員とも協議しながら、具体的にどこまで盛り込むのかということについては調整していきたいというふうに思っております。若い先生だけではなくですね、全ての教職員が高い倫理観を持って、責任ある職責に応じて対応していかなければならないということは当然のことですので、そういった取組を続けていくということが必要だと思っております。具体的にどこまで盛り込むのかということについては、大綱は大きな方針ということになりますから、全体を調整し、バランスを見ながら考えていきたいと思っておりますけれども、やはり自分事として捉えるような取組というのは常に続けていかなければならないと思っております。これは「自分が気を付けていれば大丈夫」というだけではなくて、何かの折にそういった場面に遭遇してしまう可能性が誰にも起こり得るというような観点をもって、それではそのような場面に遭遇した場合にどう対応すべきなのかということ、定期的にですとか、折を見て考え、そして行動する、そういった機会が必要であるというふうに考えておりますので、校内の点検もしかりですし、また研修等の機会でも様々な方から意見を聞くということも当然あると思います。それぞれの教職員が、自分事として捉えて対応できるような取組について、どこまで書けるのかということも含めて十分検討したいと思っております。

《県立高等学校の再編整備について》

中国新聞： 中国新聞の和多といいます。朝日新聞さんの質問に重ねて確認なんですが、県立高校再編について、10月の文教委員会の時の説明資料では、1月に実施計画案を示して1月にパブリックコメントを始めるというスケジュールだったんですけども、このスケジュールを変更する可能性があるという答弁でよろしいんですかね。

教育長： 今の時点でどこまでなのかというのは中々確定的なことは申し上げにくいんですけども、10月に県議会、文教委員会で説明させていただいたスケジュール感を持ちながらも、それありきで、それがあから必ずそうするといったところではなく、しっかりと地元の関係の皆様も含めてですね、説明をさせていただくというようなプロセスを経る中で、具体的にどうなるかというのはこれからになるというふうに思っております。何か今の時点で先送りを決めたとか、あるいはそうでないかということについて言えるような状況ではないというふうに思っております。

中国新聞： 10月の文教委員会の資料で示されたスケジュールは変わっていませんけど、スケジュールありきではないという説明をされたということでしょうか。

教育長： 10月のスケジュールはベースに置いて調整は進めながらも、それありきで調整を拙速に行い、お尻を切るというような形になってしまいますと丁寧な対応が取れなくなるといことになれば、本末転倒かと思っておりますので、その点も含めて丁寧な対応をしながら、具体的なスケジュールがどうなるかということも見定めて検討したいというふうに思っております。

中国新聞： 分かりました。ありがとうございます。

(以上)